

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「当地在留邦人からの寄稿」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

寒い日が続きますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

2月19日、ケベック州政府の招待により、ケベック州への公式訪問を行いました。ドワイアン副総督への表敬、パラディ国民議会議長への表敬、主要閣僚への表敬他を行いました。特に、国民議会訪問では、小官が議会2階の傍聴席に座ると、議長が「本日は日本国総領事が国民議会を訪問しています」との紹介がなされ、小官が立ち上がってお辞儀をすると、ルゴー首相を含めて議員全員が起立して拍手し、1分間程の間、スタンディングオベーションを頂きました。このような経験は今までしたことが無かったので、とても感激しました。また、当日は、国民議会にケベック州の旗と共に日本の日の丸が掲揚されました。その写真は、当館のフェイス・ブックに掲載しましたが、青く晴れた空にケベックの旗とともに日の丸がはためいていて、とても美しく、感慨深い光景でした。

今回の訪問では、どなたにお会いしても、どこに行っても、とても温かい歓迎を受けました。また、お会いした副総督や議会議長、閣僚の方々皆様から、日本とケベックの関係発展に向けての強い期待を感じました。今回の訪問を通じて、ケベックの方々が本当に日本に親しみを感じていること、また、日本との関係の発展を希望していることを強く感じました。今回の貴重な経験を踏まえ、気を引き締めて、引き続き日本とケベックとの関係強化に尽力していきたいと思えます。

さて、今回のメルマガには、マギル大学医療センターに勤めておられる佐藤医師から、モンリオールの医療事情について寄稿を頂きました。既に何度か触れていますが、日本人が海外に留学し、あるいは勤務する場合に、最大の関心事の一つが医療です。日本の医療制度に馴染んできた日本人にとってケベックの医療制度は馴染みが無く、誤解を招くこともあると思います。そのため、総領事館としては少しでも当地の医療事情について情報を広めようと努力していますが、そのような試みの一環として、今回、寄稿して頂きました。また、自分のケベック公式訪問の際にも、保険省の担当から、ケベックの医療事情について説明を受けましたので、その時に頂いた資料を電子情報として、ホームページの「医療事情」の中に掲載する予定です。

来月は、プリンスエドワードアイランド州への公式訪問が予定されていますので、次回号で、その報告をいたします。

2 当地在留邦人からの寄稿

【日本とモンリオールの医療事情の違い】

日本の大学病院で内科医として勤務をし、2014年よりモンリオールで医療臨床研究に携わっております。カナダでは臨床医師としては勤務していませんが、自らが患者として、また幼児の親としてみたモンリオール医療事情について報告致します。参考になれば幸いです。

日本の医療事情を皆さんはどう感じているでしょうか？日本にいるときは、あまり考えたこともないかもしれません。あのお医者さんは腕がいい、優しい、あの病院は待ち時間が短い、長い、などでしょうか？日本では、受診する科は患者さん本人が選び、受診する病院、クリニック（開業医）も患者さんが選びます。困ったときにはすぐに受診できるシステムは安心ですが、必ずしも受診が必要でない場合も多く含まれ、医療従事者や医療費への大きな負担が社会問題になっています。またこのシステムの弊害は時に間違った専門科を受診してしまうことです。例えば耳鼻科医のクリニックに皮膚疾患の患者さんが受診、整形外科クリニックに内科疾患の患者さんが受診に来ることなどもしばしばあります。インターネットである程度の症状を調べられるようになり、患者さんもこの症状なら、この科に受診したほうがいい、と自己判断で本来の専門でない科にかかる事が多くあります。

そもそも日本では“一般医”という概念はごく最近まで薄く、ほとんどの医師が専門医（呼吸器内科、外科、皮膚科、整形外科、麻酔科など）です。ただ上記のように多くの専門科以外の受診例を経験するにつれ、結果的に、軽症であればいわゆる“一般症例”を診ることのできる有能な医師が日本には多く存在します。一方カナダでは、一般医により、ある程度までの診察をうけ、それを越えた専門医が必要な疾患についてのみ、紹介状をもって専門医にかかるシステムです。最初にかかるのが、必ず一般医ですので、それ以降の専門医には概ね症例に対して正しい科に紹介される事が多く、間違った科を受診してしまう二度手間を減らすことができます。しかしマンパワーの問題、システムの効率の悪さ等、様々な要因で余程の緊急症例でない限りカナダでは専門医の診断を受けるまで、かなりの時間待たなければならないのが現状です。

実際、ケベックではFamily doctor や小児科医などの一般医へのアクセス自体あまりよくないという印象を受けます。まずFamily doctor/小児科医ともに登録制でかかりつけ医が必要ですが、需要と供給があっておらず、こちらに来てFamily doctor がいない方は多いと思います。実際私がかかりつけ医はいません。CLSCでFamily doctor/小児科医希望をだすと、新しく患者を応募しているクリニックに自動的に割り当てられるそうですが、待ち時間は年、月単位のように。それを待つよりは、上手にプライベートクリニックを利用するとやや日本の医療サービスに近い受診ができると思います。プライベートWalk-inのキーワードで調べるといくつかの大きなモンリオールのクリニックを検索できます。大きなプライベートクリニックではWestmount square

health group, Rockland, Union medical, VM medical, tiny-tots club などがあります。人口 10 万対医師数は、日本は 206, ケベックは 242 です。

つまり日本のほうが人口に対する医師数は少ないにもかかわらず、明らかにケベックより医療サービスへのアクセスが良いのはひとえに医師や医療スタッフの勤労によるものです。過去に個人的にモンリオールで受診した、小児科医、産婦人科医、皮膚科医、ERドクターは日本の医療と差のない素晴らしい医療を提供してくれました。また小児科のクリニックに関しては、予約なしで受診ができるウォークインクリニックのサービスなどもあり、あまり日本と差のない医療を受けられる印象を受けます。違いといえば、日本よりも画像診断（X線、CT、超音波）や血液検査が非常に少ないことでしょうか？日本の医療は、1%の非典型的患者を見逃さないように努力をした初診を行います。カナダは医療費節約のために、99%の一般的な症状を想定した医療を行っている印象を受けます。モンリオールで非典型症状の1%に入ってしまったら、幸運にも経験値の高い医師により初診で見つけてもらえるか、もう少し重症になってから再診で見つかるかのどちらかだと思います。

薬に関しても同様で、日本では高価でも症例に対して一番あっている薬を選びます。ケベックでは一番に処方される薬は薬価の安い薬のことが多く、日本では最近あまり見ないような古典的な薬が使われています。新薬は薬価が高いですが、とても良い薬もたくさんあり、状況に応じて上手な使い分けが必要と感じます。

日本の医療とモンリオールの医療は違いも多いですが、ケガ、持病のケア、救急の疾病に対し、常日頃から自分なりに対策しておくことが、安心して生活するためにとっても大切なことだと思います。ケベックの冬は寒く長いですが、子供も大人もしっかり着込んで積極的に外に出て身体を動かし、心も身体も健康に過ごすことも大切だと思います。

佐藤 環

Clinical Research Coordinator, Research Institute of the McGill University Health Centre

3 領事便り

(1) 在外選挙人名簿登録のご案内

在外選挙では、国政選挙（衆議院議員選挙及び参議院議員選挙、これらに係わる補欠選挙及び再選挙）に投票することができます。外国に住んでいても、皆様の一票が国政にいかされます。

海外で投票するためには、あらかじめ「在外選挙人名簿」への登録申請を行い、事前に在外選挙人証を取得しておく必要があります。

在外選挙人名簿の登録は、満18歳以上の日本国民で、海外に3か月以上継続して居住している方（市区町村役場に転出届を出している方）であれば申請可能です。

在外選挙人名簿登録申請には、市区町村選挙管理委員会における登録資格調査等の手続きのため、申請から在外選挙人証の交付まで通常で約2～3か月を要します。

今年夏に第25回参議院議員通常選挙の実施が予定されますので、ぜひこの機会に在外選挙人名簿の登録申請を行ってください。登録申請の手続きは当館で受け付けています。詳しくは外務省ホームページ御覧ください。

在外選挙制度のご案内 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/index.html>

在外選挙人名簿の登録についてのご照会は、当館領事班までお問合せください。（電話：514-866-3429（代）、E-mail：consul@mt.mofa.go.jp）

（２）当館管轄州での３月の領事出張サービスについて（再度のお知らせ）

当館では、モントリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

３月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

○ハリファックス領事出張サービス

日時：2019年3月9日（土）午前10時～午後12時、午後1時～午後3時

場所：Halifax Central Library (Windsor Foundation Room (4F))

住所：5440 Spring Garden Road, Halifax, NS, B3J 1E9

申込締切：2019年2月22日（金）

【詳細】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_halifax_20190309.html

○セント・ジョンズ領事出張サービス

日時：2019年3月30日（土）午前10時～午後12時、午後1時～午後3時

場所：Memorial University of Newfoundland

Bruneau Centre for Research & Innovation

Beatrice Watts Boardroom (Room IIC-2014)

住所：Elizabeth Ave. St John's, NL A1B 1T5

申込締切：2019年3月15日（金）

【詳細】https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NL_20190330.html

平成30年度の領事出張サービス実施予定については、こちらをご確認ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話：514-866-3429（代）

E-mail：consul@mt.mofa.go.jp

4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の大使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの大使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

(2) 日加修好90周年事業

ア 第21回大西洋州日本語弁論大会

日時：3月9日（土）13時

場所：マウント・アリソン大学（NB州）

Mount Allison University

Sackville, NB

イ 第30回ケベック州日本語弁論大会

日時：3月10日（日）10時

場所：マギル大学

McGill University

Leacock Building, Room 26

855 Sherbrooke St. W., Montreal, QC

ウ ケベック大学モントリオール校（UQAM）「ジャパNDER2019」

「平成を振り返る」をテーマに講演会を開催します。講演者に、吉田徹北海道大学教授、ジャン＝マリ・ブイスー・パリ政治学院研究ディレクター、バルテレミー・クルモン・ラウル・ダンデュラン戦略外交研究所（UQAM）リサーチャー兼リールカトリック大学講師兼国際関係研究所（IRIS（仏））研究ディレクターらを迎えるほか、元ケベック州政府在日事務所代表らによるパネルディスカッション等を行います。

日時：3月29日（金）9時～19時

場所：Le centre Pierre-Peladeau - Le Salon Orange

300 Boul de Maisonneuve E, Montreal, QC H2X 3X6

5 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア ラヴァル大学でのイベント (ケベック市)

(ア) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：(隔週月曜日) 2月4日, 18日, 3月4日, 18日, 4月1日, 15日, 29日, 5月13日, 27日, 6月10日

(仏語) 19時~19時45分 (日本語) 19時45分~20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

(イ) 「四国お遍路を終えて」

昨年四国お遍路1200キロを歩き、88寺を訪ねたDr. Alexandre Jouanが、その旅路と日本について語ります。

日時：3月31日(日) 13時~15時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料(20名まで)

(ウ) ワークショップ：ジャバラ式とひも綴じ式和式ノートを作ろう

日時：4月7日(日) 13時~16時半

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

要事前登録(20名まで)

参加費：一般50ドル, 大学関係者46ドル(税・材料費込み)

(エ) 端午の節句

鎧兜等，端午の節句にちなんだ折り紙作りを行います。

日時：5月5日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-G.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

(オ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：9月29日（日）～12月15日（日）

場所：ラヴァル大学図書館4階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-G.-Bonenfant, niveau 4

イ 展示会「Nous sommes tous différents et nous sommes tous beaux（みんなちがってみんないい）」

金子みすずの絵本「みんなちがってみんないい」のフランス語版出版記念イベントとして，原画の展示会，挿絵を担当した絵本作家の是澤理恵子氏とその翻訳者ヴァレリー・アルヴェ氏による講演会，ワークショップが開催されます。レヴィ市の文化事業の一環です。

原画展示会期間：3月4日（月）～4月6日（土）

アルヴェ氏による詩のワークショップ（8歳以上対象）：3月7日（木）14時

出版記念イベント：3月20日（水）17時，講演会：19時

場所：Bibliothèque Jean-Gosselin

3316, avenue des Églises, Lévis

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.ville.levis.qc.ca/culture/bibliotheques/animations-activites/detail/evenement/699/>

ウ 展示会「Un hommage au New Yorker」

雑誌「The New Yorker」のオマージュで，「The Tokyoiter」「The Parisianer」

「Le Montrealer」のイラストレーションの展示が行われます。

期間：3月29日（金）～6月9日（日）

ベルニサージュ：3月28日（木）17時～19時

場所：Maison de la culture Notre-Dame-de-Grace de Montreal

3755, rue Botrel, Montreal

無料

詳細はこちらからご確認ください。

http://www.accesculture.com/activite/UN_HOMMAGE_AU_NEW_YORKER

(2) その他のイベント

ア 裏千家淡交会茶道教室（ケベック市）

（冬のコース）1月12日～3月23日 毎週土曜日計10回

（春のコース）4月6日～6月8日 毎週土曜日計10回

10時～12時半（初級レベル1と中級）13時～16時（初級レベル2）

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-G.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-cours-ceremonie>

イ 生け花インターナショナル2月例会

Raynald Donais 氏による池坊ミニデモンストレーションとワークショップが行われます。

日時：2月26日（火）13時

場所：Mountainside United Church

687 Avenue Roslyn, Westmount（電話：514-486-1165）

参加費：20ドル

連絡先：田中和子氏 montrealikebana77@gmail.com

ウ ICAOキャリアガイダンス

本イベントでは、ICAO本部内をご案内し、日本政府代表部にてICAOの専門的な役割や世界への貢献とともに、各国との外交を通じての日本の取組に関する紹介等を予定しております。詳細は<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/files/000446801.pdf> をご覧下さい。

日時：3月15日（金）16時～

連絡先（応募先）：japan@icao.int

エ 鼓童ワン・アース・ツアー2019「Evolution」

太鼓芸能集団「鼓童（<https://www.kodo.or.jp/>）」が2019年1月～3月にアメリカ、カナダツアーを行います。3月23日にはモントリオール公演が行われます。

上演作品：「Evolution」（演出：坂東玉三郎）

日時：3月23日（土）20時

場所：Salle Wilfrid-Pelletier, Place des Arts

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.kodo.or.jp/performance/performance_kodo/10025

<https://placedesarts.com/en/event/kodo>

6 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

(1) ケベック (QC) 州

- ・ 1月8日, ルゴ州首相は報道陣への対応問題を理由にシャセ (Ms. MarieChantal Chasse) 同州環境大臣を更迭。新たにシャレット (Mr. Benoit Charette) 氏を環境大臣に任命すると発表。
- ・ 1月10日, シェルブルック大学の課税・財政研究所はケベック州の2017年の課税率はカナダの平均33%を上回り, カナダ全国首位の37.3%を記録した旨の調査結果を発表。
- ・ 1月17日, ケベック党 (PQ) 所属時に環境大臣を務めていたブランシェット (Mr. Yves-François Blanchet) 党首がブロック・ケベコワ (BQ) 党首に就任。
- ・ 1月20日, ルゴ州首相は州の経済刺激策として, ケベック投資公社, ケベック預金投資金庫, 在外ケベック州事務所の3者の連携を図り, 貿易強化を図っていく旨発言。
- ・ 1月20~22日, ルゴ州首相は仏を公式訪問し, マクロン大統領, フィリップ首相, 上下両院議長と会談。
- ・ 1月22日, ルゴ州首相は仏公式訪問に同行したケベック州経済関係者と仏経済界との夕食会の席で, 仏において活躍するケベック州企業を激励。
- ・ 1月22日, ルゴ州首相はムシキワボ (Ms. Louise Mushikiwabo) 仏語圏国際機関 (O I F) 事務総長と面会。その後, ダボスでの世界経済フォーラムに出席。
- ・ 1月23~25日, ルゴ州首相はダボス世界経済フォーラムで経済関係者 (エアバス社代表, ArcelorMittal 社代表, IBM社, ボルボ社関係者等) やモスコビシ (Mr. Pierre Moscovic) 欧州委員経済金融問題担当とカナダ・EU包括的経済連携協定 (C E T A) について意見交換を行った。

(2) 大西洋州一般

- ・ 1月23日, 大西洋州首相会議がPEI州シャーロットタウンで開催。大西洋4州を結ぶ送電網を利用したクリーンエネルギーの活用, 州をまたぐ国内貿易規制に関する連携, 医療, 国外貿易問題が主な議題。

(3) ニューファンドランド・ラブラドル (NL) 州

- ・ 1月24日, ポール・デイヴィス前州首相 (進歩保守党) の辞職に伴うトップセール=パラダイス選挙区補欠選挙の結果, 進歩保守党のポール・ディン氏が当選。

(4) プリンズエドワードアイランド (PEI) 州

- ・ 1月3日, プリンズエドワードアイランド大学 (UPEI) は, 創立50周年を迎える本年, 関連式典や講演会等開催予定。
- ・ 1月15日, PEI州政府と連邦政府は, 州内の2つのミクマク・コミュニティと両者の円滑な議論を可能にするプロセスを定めた枠組み合意を締結。
- ・ 1月16日, PEI州政府と連邦政府は, 低価格住宅補修・建設に関する合意を発表。州政府と連邦政府の折半で10年間で1,500万加ドルを支出予定。PEI州の空き家率はアパートで0.3%と, 2018年に史上最低を記録した。
- ・ 1月16日, シャーロットタウン市は, 洪水や海岸線浸食対策予算として, 1,450万加ド

ルの支援を連邦政府に申請。

・ 1月18日、大西洋州経済評議会（APEC）の発表によると、2011年にPEI州に到着した移民のうち、2016年に同州にとどまっていたのは16%と、カナダ最低の定着率であった。

・ 1月22日、PEI州政府は、今春の州議会で個人消費目的のアルコールの同州内持ち込み制限撤廃を目指す。

・ 1月31日、PEI州政府は、現在の単純小選挙区制から小選挙区比例代表併用制への変更の是非を問う州民投票実施に向けた準備を2月1日に開始すると発表。州選挙制度州民投票法により、州民投票の準備期間は8ヶ月以内、また州議会選挙との同時実施が定められているため、州民投票と州議会選挙は遅くとも本年10月1日までに実施されることが決定。

（5）ノバスコシア（NS）州

・ 1月4日、ケープ・ブレトン市は、ポーランドのヴァウブジフ市との姉妹都市協定を締結。同市には、20世紀初頭に数千人単位で移住してきたポーランド人コミュニティがある。

・ 1月8日、NS州政府はプロトコル・チーフを公務員職とするために候補者を公募した結果、現職のグレニー・ランジルの留任が決定。

・ 1月9～10日、伊澤総領事のノバスコシア州公式訪問。ルブラン副総督、マクニール州首相、マーフィー州議会議長、マックレラン商業大臣、サヴェージ・ハリファックス市長への表敬訪問、海洋研究関係者や日系コミュニティとの意見交換を実施。

・ 1月16日、ミラー州環境大臣は、埋め立てゴミ削減のため、プラスチック、段ボール、新聞紙の熱処理を許可すると発表。

・ 1月29日、カナダ統計局によると、2018年10月1日時点の州人口は、過去最高の964,693人に達した。

（6）ニューブランズウィック（NB）州

・ 1月8日、州政府は、前自由党政権が今年度予算で取り組んでいた、保育施設の認定作業と、それら施設を利用する家庭への補助プログラムの継続を決定。

・ 1月15日、州政府は、費用予測が1億3,000万加ドルに膨れ上がった2021年仏語圏国際競技大会開催を可能にするための資金繰りを検討する締め切りを1月30日とする旨発表。

・ 1月16日、キム・マクファーソン州監査役は年次報告書を発表し、州の負債額が純負債で139億加ドル、長期負債が170億加ドルと、過去最高額に達したことに強い懸念を表明。

・ 1月21日、NB州政府は、全ての救急隊は英仏2言語でサービスを提供する旨、アンビュランスNBに命じる。約1ヶ月前に出した命令を撤回する内容。

・ 1月24日、救急隊員は言語能力ではなく勤務年数に応じて雇用されるべきとした、労働調停委員ジョン・マクイーヴォイ氏が下した2018年の決定に関する司法審査が州上級裁判所で開催。ルブラン判事は判決を下す時期を明確にはしていない。

・ 1月30日、NB州政府は、費用超過を理由に、モンクトンとディエップで開催予定であった2021年仏語圏国際競技大会の開催断念を発表。

・ 1月31日、ヒッグス州首相は、2019年度予算では131億加ドルの赤字を返上し、均衡

予算にすると発表。

2 各州世論調査結果

(1) 州選挙 (政党支持率)

- ・ QC州 (Mainstreet 社調べ (以下同じ), 1月17~18日) : ケベック未来連合 45%, ケベック自由党 26%, ケベック連帯 16%, ケベック党 9%, その他 4%
- ・ NL州 (1月12~14日) : 進歩保守党 43.3%, 自由党 42%, NDP 11.3%
- ・ PEI州 (1月15~18日) : 自由党 35.2%, 緑の党 30.8%, 進歩保守党 29.6%, NDP 2.7%
- ・ NS州 (1月15~17日) : 自由党 32.1%, 進歩保守党 31%, NDP 25.2%, 緑の党 8.1%
- ・ NB州 (1月13~15日) : 進歩保守党 40.2%, 自由党 27.3%, 緑の党 15%, ピープルズ・アライアンス 12.4%, NDP 4.5%

(2) 連邦議会選挙 (政党支持率)

- ・ QC州 (Mainstreet 社調べ, 1月17~18日) : 自由党 42%, 保守党 19%, ブロック・ケベコワ 14%, 新民主党 9%

3 経済

(1) QC州

- ・ 1月4日, エアバス社は A220 の機体 60機 (1機のカタログ価格は 110億米ドル) の調達契約 2件 (計 120機) を受注し, JetBlue 社と Moxy 社に販売する予定。
- ・ 1月8日, 三菱 MRJ 機の開発に係る知的財産分野での違反が見られたとして提訴中のボンバルディア社は, 米裁判所に訴えの棄却をしないよう要求。
- ・ 1月28日, 三菱航空機はボンバルディア社の訴状は MRJ 機開発の阻止を意図としているとして同社を反訴。
- ・ 1月9日, ソニーはモントリオールのビデオゲームオーディオデザイン会社 Audiokinetic の買収を決定。
- ・ 1月9日, デルタ航空はエアバス社の A220 機を 15機追加購入し, 合計で 90機を購入予定。
- ・ 1月18日, トヨタ, ホンダ及びエネルギー移行ケベック局 (Transition energetique Quebec) の3者はパートナーシップ協定を締結。2019年内にモントリオール島南部で水素燃料補給ステーションの建設を予定。
- ・ 1月23日, マッカーナ (Ms. McKenna) カナダ環境相は 2040年までに国内で販売される自動車全てを電気自動車とする旨公約。
- ・ 1月28日, モントリオール大学所属の MILA (アルゴリズム研究所) は, マギル大学, エコール・ポリテクニク等との連携により, モントリオール市内マイルエンド地区に新たな AI 技術開発拠点を開設。同施設では 20のスタートアップ, 375名の専門家, 125名の研究員が在籍し, 今後 700名の雇用を予定。

- ・ 1月28日、エネルギー・天然資源省は州内の鉱山開発事業の2017年度利益は、前年比の2倍となり、主な収益源は鉄と金の開発であった旨報告。
- ・ 1月30日、ケベック州自動車保険公社の調査によると2017年から2018年の一年間でケベック州内の電気・ハイブリッド自動車数が倍増した。Saguenay-Lac-Saint-Jean 地域で最も高い増加率が見られたが、州内の自動車数全体からすると電気・ハイブリッド車は依然1%に留まる。
- ・ 1月30日、テオタクシー (Teo Taxi) を経営する Taxelco 社は不採算により経営破綻し、400名のドライバーが失職。同社は創業時、州の補助金を得ていたが州政府は本件に関して支援の意向は表明していない。
- ・ 1月30日、ジュリアン (Mr. Jonatan Julien) エネルギー・天然資源大臣は北部計画 (Plan Nord) 再始動に向けて本計画の早期着手を目指すべく、鉱山開発事業計画手続きに要する660の許可証取得を20%程度削減し、より迅速な鉱山開発を目指す旨述べた。
- ・ 31日、ケベック州の最低賃金は本年5月1日より時給当たり50セント引き上げられ12.50加ドル (4.2%増) となる。

(2) 大西洋州一般

- ・ 1月24日、連邦政府は、再生可能エネルギーの安定的な供給を可能にする送電網構築の研究のため、シーメンス、ノバスコシア・パワー、NBパワー (NB州営公社) の共同パイロットプロジェクトに3,566万加ドルを支出。
- ・ 1月25日、連邦政府は、穀物と油糧種子の生産量拡大と、持続可能な収穫を目的とした研究支援のため、大西洋穀物協議会に400万加ドルを支出。
- ・ 1月26日、巨大企業集団JDアーヴィング (本社NB州セントジョン) は、今後3年間でアメリカとカナダで合計7,500人をフルタイムで、2,500人をパートタイムで雇用する旨発表。雇用の89%はカナダ大西洋州で行われる予定。

(3) NL州

- ・ 1月3日、マスクラット滝水力発電所の完成が迫り、将来大幅な値上げが懸念される電気料金緩和の道を探る州公共事業委員会から調査を委託されていたシナプス・エナジー・エコノミックスとリバティー・コンサルティング・グループは中間報告書の中で、プロジェクトを主導するナルコー (NL州営企業) の人員削減を含む思い切った対策をとらない限り、電気料金は2021年までに現在の2倍であるキロワット時22.9セントに値上がりすると予測。
- ・ 1月28日、州政府は、州内の林業活性化のために、業界団体、学術機関、ファーストネーションと話し合いの結果策定した32のアクションプランを発表。
- ・ 1月30日、カナダ・ニューファンドランド・ラブラドール海洋石油委員会は、昨年11月に原油漏れ事故を起こして稼働停止になっているハスキー・エナジーのシーローズ油田について、故障した海底のフローラインを遠隔操作でふさぐというハスキーの計画を承認した。

(4) PEI州

- ・ 1月10日、2018年のシャーロットタウン空港の旅客数は3年連続で上昇し、370,7

30人だった。

(5) NS州

- ・ 1月2日, 12月に倒産したケープ・ブレトン島東部のシドニーにあるコールセンター, サーヴィコムが, アイオワ州のビジネスマン, アンソニー・マーロウ氏の買収により, 営業を再開。
- ・ 1月8日, 4月1日より州の最低賃金が現在の時給11加ドルから11.55加ドルに引き上げられることが発表。
- ・ 1月9日, ノルウェー企業マルティクライアント・インヴェストは, ノバスコシア州沖で進めていた石油・天然ガス探査を中断。
- ・ 1月9日, 2週間前に落盤事故を起こして業務停止となっているドンキン炭鉱が, 8名の作業員を解雇。
- ・ 1月15日, BPカナダは, 第一フェーズで規定の4坑を掘削できず, ハリファックス南東沖の石油・天然ガス探査ライセンスでカバーされた鉱区の50%を放棄。
- ・ 1月16日, 製紙企業ノーザンパルプは, 新たな排水放出場所が決まるまで, ポートハーバー(州北岸)の排水処理場の閉鎖延期を求めているが, 州政府は, 予定通り2020年1月には同処理場を閉鎖すると回答。
- ・ 1月17日, 州政府は, スタートアップと中小企業向けに, 25万ドル以下の投資に対して最大45%の税控除が受けられるタックス・インセンティブ制度を導入。
- ・ 1月23日, 総額5,500万加ドルとなる新しいカナダ陸軍訓練場がハリファックスに開設。
- ・ 1月24日, オンラインショッピング・オークション大手のイーベイ・カナダは, 小売店向けEコマース研修をカナダで初めてハリファックスで実施すると発表。

(6) NB州

- ・ 1月9日, 営業開始から3ヶ月足らずの州営大麻販売店「カナビスNB」は, 約60名の販売員を解雇。カナビスNBでは営業開始以来在庫不足が続いている。
- ・ 1月17日, セントジョン・エナジー(セントジョン地域の電力供給企業)は, セントジョン市西部のスプルス・レイク工業団地における3,000万加ドルの風力発電プロジェクトの建設事業者を公募。2020年建設開始, 2022年送電開始を目指す。
- ・ 1月21日, 水産大手のクック・アクアカルチャーは, 永住権取得の条件として移住後6ヶ月以内に英語か仏語の習得を義務付けている現在の大西洋州移民パイロットプロジェクトの規制緩和を, 連邦・州政府双方に求めた。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は, 「配信中止(又は登録解除)」, 「配信先変更」を希望する旨明記の上, emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメ

ールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp）

当館ホームページ

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（emagazine@mt.mofa.go.jp）まで御相談ください。

